

「自然環境」を 持続可能にする

ENVIRONMENT

持続可能な未来のために 環境に優しい新たな取組みを推進

当社では、世界的な課題である脱炭素や水問題等にご貢献するべく、様々な視点から自然環境に配慮した商品を提供しています。アップサイクルやリサイクルによるアイテムを拡充し、少量の水使用でプリントする寝具等を積極的に採用しました。また、自然環境のテーマとして「責任ある紙の使用」を掲げており、カタログ古紙を再資源化して新たなカタログへと生まれ変わらせるリサイクルスキームを開始しています。他にも、温室効果ガス排出量の削減に関する様々な取組みも継続的に行っています。

環境負荷の少ないものを纏う嬉しさを アップサイクルプルオーバーを販売

ファッション業界では持続可能な未来の実現に向けて、サステナブルな取組みが当たり前となりつつありますが、当社のファッションブランド「So close, (ソー クローズ)」では、余剰在庫のTシャツを廃棄せず、反毛技術の活用による再生繊維の生地を使用したプルオーバーを販売開始しました。

「アップサイクル」とは、本来は捨てられるはずの製品に、アイデアやデザインなど新たな価値を与えて再生することです。しなやかな質感と絶妙な空感に仕上がったこの商品は、襟の細めの程良いボートネック仕様や全体のシルエットにもこだわり、サステナブル×快適さ×デザイン性を実現しました。



「自然環境」を 持続可能にする

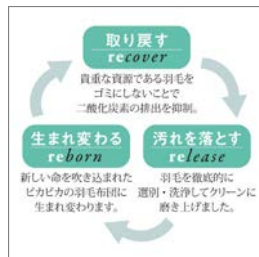


オリジナルのリサイクル羽毛ブランド 「reumo」のアイテムを更に拡大

お客様にも大変ご好評をいただいている、当社独自のリサイクル羽毛ブランド「reumo(リウモ)」では、様々な寝具商品の開発に取り組んできました。これらに加え、2022年度は新たな展開として、同ブランドのリサイクルダウンジャケットやこたつ掛布団などの商品を拡大。

耐久性に優れ、100年間循環できるといわれる羽毛は、大切な資源のひとつとされています。そんな貴重な資源を守るため、全国から回収した羽毛布団の中でも、一般的な新毛よりもさらに丁寧に洗浄をかけた高品質な羽毛だけを使用し、ハイクオリティな商品群に生まれ変わりました。

今後も「reumo」を使用した商品を幅広いジャンルで展開していきます。



丁寧に選別と洗浄をかけた
羽毛は軽くふっくら蘇り、
暖かい空気をたっぷり含む

染色時の水の使用量を押さえた、 インクジェットプリントによるケットやカバーリング

2023年の世界10大リスク*にも入るほど、深刻とされているのが「水問題」です。当社では、こうした課題に対応するべく、これまでに比べ製造時の水使用量が少ない商品をラインナップしています。

北欧の自然をモチーフにした印象的なデザインで、時代を超えて不動の人気を誇るテキスタイルブランド「フィンレイソン」は、環境に配慮した製品作りへの取り組みが、世界的にも注目を集めています。同ブランドのケットやカバーリングに描かれた大胆な水彩画タッチの花柄は、染色方法として、多彩な色の表現を同時に叶えるインクジェットプリントを採用。この方法は染色時の水の使用量を抑えられるため環境への負荷軽減にも貢献しています。

※ 2023年1月発表、米国調査会社ユーラシア・グループ「TOP RISKS 2023」より



「フィンレイソン」クンプラキルトケット



日本製紙とともに開始した、
「クローズドループ」のリサイクルスキーム

ディノスロジスティクスセンター東京は、
「2022年度まちだ3R賞」を受賞

気候変動の緩和へ、 資源回収やリサイクルへの取り組み

自然環境の取り組みテーマのひとつに「責任ある紙の使用」を掲げていますが、その一環として、カタログの古紙を再資源化し、新たなカタログへと生まれ変わらせるリサイクルスキームを、カタログ用紙調達先である株式会社日本製紙との協業で開始しました。この取り組みを通じて、大切な資源である古紙を長期的かつ安定的に印刷用紙の原料として循環させることを目指しています。

また、ディノスの物流倉庫・ディノスロジスティクスセンター東京では、事業系一般廃棄物の減量やリサイクル等の処理について、積極的かつ組織的に取り組んでいるとして、倉庫が所在する町田市から評価され、「2022年度まちだ3R賞」を受賞いたしました。

早生樹・センダンの植樹活動と 家具開発の取組み

センダンは広葉樹の中でも成長が早く、植林してから15～20年ほどと、杉やひのきに比べて約1/3の期間で伐採が可能です。さらに成長の早さに比例して、一般的な針葉樹と比べCO2の吸収能力が約3倍高いとも言われており、地球温暖化の進行を抑える役割も期待できます。家具産地である福岡県大川市では、家具材として適している上に、自然環境を守るという点でも優れているセンダンを、協同組合福岡・大川家具工業会が中心となって、家具作りに活かす取組みを進めています。その一環として、「うえる、つくる、つなげる」をキーワードに、持続可能なサイクル構築のため、センダンの植樹活動を実施。当社も地元の皆さんとともにこの活動に参加し、サステナブルな森づくりを応援しています。また当社では、「山を守り、未来へとつなぐ」をテーマに掲げ、センダンのオリジナル家具を開発、販売を始めました。今後も森林循環や林業活動を活性化する試みにも積極的に関わりながら、お客様のライフスタイルに寄り添った、愛着を持って長く使える商品を提供していきます。

